

一 般 質 問

東和・橘・大島3病院の 充実存続に全力を求める！

広 田 清 晴 議員

問 大島病院建設に関係し「東和病院がつぶれる、橘病院がなくなる」との一部にいたずらに不安を煽る風潮がある。今日まで医師不足の根本問題（医学部定員減、臨床医研修制度）についても議論してきた。今後とも町立病院に相応した運営や将来展望を町民に示すことが大事。見解を求める。

答（公営企業管理者）労働条件の改善について、確保の困難な職種（医師・看護師）については初任給調整手当等で対応している。院内保育については3病院あるので検討課題



としたい。又患者の皆さんに対する対応は各病院で意見箱を設置し意見を聞き、接遇研修会や改善に取り組んでいる。病院がつぶれるとの不明朗な宣伝に対しては公的病院改革プランで「3病院堅持」を表明している。今年度東和病院に2名の医師が勤務して頂くことになった。引き続き医師の確保に全力をつくす。

今後の課題として「やすらぎ苑」の30床増床も必要とし検討している。

問 田布施農高大島分校跡地利用対策は大事な課題。各種団体の意見を聞き実現できるよう対応を求める。

答（町長）町民の方々から多数の意見を聞いている有効活用できるものについては県に対し進言していく。

その他 岩国基地問題、屋代川の改修について質問した。

安高離岸堤等その後の整備状況は！

中 本 博 明 議員

問 今、世界中で大きな地震が起きている。周防大島町でも2月21日に震度4の大きな地震があった。平成16年12月議会で質問した、安高離岸堤と三ッ松東線の拡幅工事はその後どのような検討がなされたかを問う。

答（町長）安高地区は、昭和53年と昭和54年度に海岸保全施設整備事業により、護岸の整備と消波ブロックの設置を、また、平成18年度には護岸の嵩上げ工事を行っている。今後、安高地区を含めたその他要望



箇所については、現継続事業の完了に合わせて、国・県へ新規事業として要望並びに協議していく必要があり、その地域に適した防護対策を検討していきたい。

三ッ松東線については、道路拡幅となると、建物の移転や用地の買収に大きな経費が必要となる。三ッ松地区の区有地は、土地所有者の相続人全員の同意が必要になり、所有権移転は困難である。

また、県から、港湾区域である三ッ松地区は、水産省所管の事業の採択基準に合わず、この事業では、実施できないとの報告があった。

今後も事業として採択される方向性をさぐっていき



離岸堤設置が待たれる安高地区沖